



ふらり らい ぶらりい

～図書室にはこんな本があります～

No. 183

★利用者からの質問をもとに昭和館図書室の資料をご紹介します。
(書名の後の()の数字は請求記号です。)

問)「玉音放送」の全文と、現代語訳があればそれも見たい。

答)「玉音放送」とは、昭和20年8月15日正午昭和天皇が終戦の詔書を読み上げたラジオ放送のことです。

今年は戦後70年という節目の年だったこと、また「玉音放送」のレコードの原盤が初公開されたこともあり、何回か同じお問い合わせを受けました。

「玉音放送」だけをキーワードにすると、該当する資料が多すぎますので、キーワードを組み合わせた複合検索をすると便利です。複数のキーワードで検索する場合は、言葉と言葉の間にスペースを入れてください。

「 → → 2件該当

検索結果を確認すると、以下の資料に現代語訳が収録されていました。

『玉音放送が流れた日』(210.75/G99 開架一般)

「玉音放送」の全文は、以下の資料でも読むことができます。

『開戦の詔書 大日本帝国憲法・教育勅語・大本営発表・ポツダム宣言・終戦の詔書』
(210.75/J55 開架一般)

※「玉音放送」は5階映像・音響室でお聞きいただけます。

図書室には、書棚に並んでいる図書以外にもたくさんあります。
検索端末を使って、読みたい本を探してみてください。
操作方法等、カウンター職員までお気軽にお問い合わせください。

—防空質疑応答— 週報より⑫



『週報』は昭和11年から昭和20年の敗戦時まで続いた週刊の政府の宣伝広報誌です。今回は『週報366号（昭和18年10月20日発行）』に掲載されていた、防空警報についての問答を一部ご紹介します。

防空質疑応答（三） これは週報七月二十一日号に特集した解説付「時局防空必携」に対する読者の疑問に対し、内務省防空局で答えられたものです。

防空警報について

（問）防空警報と空襲警報の区別及び発令官をご説明下さい。

（答）防空警報というのは、警戒警報、警戒警報解除、空襲警報、空襲警報解除の各警報を総称したものである。空襲警報は防空警報中の一種である。防空警報の発令官は当該区域の防衛を担任する陸・海軍司令官（軍司令官、師団長、要塞司令官、鎮守府司令長官もしくは警備府司令長官）または陸・海軍司令官の指定する者（例えば地区司令官の如し）である。なお、以上の者の発する軍の防空警報を以て、同時にそのまま国民防空の防空警報とすることに定められている。

警報発令の時機

（問）防空警報の警戒警報、空襲警報は、どんな場合に発令されるか。

（答）警戒警報は敵航空機の来襲の恐れある場合、即ち敵機が来るかもしれないというような場合、例えば我に敵航空母艦が近寄りつつあるが如き場合に発令される。空襲警報は、敵航空機の来襲の危険ある場合、即ちいよいよ敵機が空襲してくるから気をつけよとの知らせである。空襲警報解除は、敵航空機の来襲の恐れはあるも、危険がなくなった場合に発令される。警戒警報解除は、いよいよ敵航空機の来襲の恐れがなくなった場合に発令される。

警報伝達の系統

（問）警報伝達は必ず町会長を経て、隣組長より各戸へ伝達さるべきものと承知しているが、所により違うようである。一定の系統が規定されてはいないのか。

（答）防空警報の口頭による伝達は、必ず町会長を通じ隣保班長へ伝達されるものとは限定されていない。地方によっては町会長を経ず、警防団員より隣保班長へ伝えられる。かように口頭による伝達については、画一的、形式的に墮することなく土地の状況その他を考慮し、実情に適合するよう考えられている。

（※旧漢字、旧仮名遣いは改めました）

—図書室から—

15番書架の上段にて、静岡県の戦中戦後に関する資料を展示しております。

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ NO. 183

2015年10月20日 発行/ 編集・発行 昭和館 図書室 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1